

<会員ポジション>

() は注文中・数字のみは建玉中・赤は決済済み

銘柄	限月	建玉日	建玉値段	売枚数	買枚数	終値	新規注文	ロスカット	利食目標
金	1	2018/12	1/17	4739 円		1	4513 円		納会落ち
	2	2019/10	11/13	4380 円		1	4500 円	4499 円以下	
白金	1	2019/02	4/3	3195 円		1	2865 円		
	2	2019/10	12/14	2890 円		1	2864 円		
コーン	1	2019/09	10/12	24700 円	1		24390 円		24340 円
	2	2019/11	10/30	24800 円	1		24010 円		24000 円
ゴム RSS3	1	2019/05	12/5	161.9 円		1	171.6 円	163 円以下	
	2	2019/05				1	171.6 円		

※この会員ポジションは、元本を保証しているものではありません。必ず、ご自身の判断でお願い致します。

世界のETF取組高

銘柄	12月14日時点	前日比	主な増減
金	1943.45	+10.65	NY、iシェアーズ、 ETFセキュリティーズ増加
銀	19962.61	-2.64	
白金	63.41	-0.02	
パラジウム	26.97	-0.10	

1トン単位

東京トウモロコシの需給・作付面積・四半期在庫予想（12月12日時点）

需給報告	結果	予想	インフォーマ	前回
単収 (/)				178.9Bu (11/08)
生産高 (/)				146.26億 Bu (11/08)
期末在庫 (12/11)	17.81億 Bu	17.38億 Bu		17.36億 Bu (11/08)
四半期在庫 (/)				53億0594万 Bu(6/29)
作付面積 (/)				8912万8000エーカー(6/29)

※赤は結果の数字になります。

東京金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	4453 円	4501 円	4409 円	4358 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	200 日	
	4509 円	4474 円	4449 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	200 週	
	4485 円	4438 円	4447 円	
RSI (14 日)	61.3%	乖離率 (13 日)	0.2%	乖離率 5% が 目安
RSI (14 週)	57.5%	乖離率 (13 週)	1.6%	

ブルーの印は上値抵抗。イエローは下値支持、グリーンはポイント。

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
4546 円	4510 円	4474 円	4438 円	4402 円

CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
11/13	539,520	168,416	177,663	-9,247
11/20	525,940	165,506	156,610	8,896
11/27	442,801	156,779	154,908	1,871
12/4	399,919	173,019	124,018	49,001
12/11	402,250	169,600	109,101	60,499
前週比	2,331	-3,419	-14,917	11,498

コメント 本日の予想レンジ 4510 円~4501 円
今週の予想レンジ 4510 円~4440 円

17日の金現物相場は上昇。ドルの下落を受け、他通貨の保有者にとって魅力が増したほか、米連邦準備制度理事会（FRB）の2日間の金融政策会合を前に世界的に株価が下落したことで、一部の投資家が金に資金を逃避させた。金現物は米東部時間午後1時36分（1836GMT）時点で、0.6%高の1オンス=1246.10ドル。ニューヨーク商品取引所（COMEX）の金先物2月きりの清算値は0.8%高の1251.80ドル。18、19の両日開かれるFRBの政策会合を前にドル指数が下落した。投資家はFRBの2019年の政策見通しと今後の利上げに注目している。USグローバル・インベスターズの主任トレーダー、マイケル・マトウセク氏は「現在、金を押し上げている要素の一つが（株安による）安全への逃避。加えてドルが若干売られている」と説明。「一部のトレーダーはFRBが利上げしなかった場合、金が急伸する可能性を想定したポジションを建てている」と指摘した。株安と世界成長の減速によって、FRBが米経済に悪影響を及ぼすリスクを避けるため、金融引き締めを休止せざるを得なくなるとの見方が浮上している。投資家の金に対する心理には楽観の兆しが見られた。米商品先物取引委員会（CFTC）が14日発表した取組高報告によると、11日までの1週間で投機筋は買い越し（1万0252枚）に転じた。買い越しは7月以来で、買い越し枚数は6月以来の多さだった。

日本時間20日朝方発表のFOMCが注目されます。FOMCで来年1~2回の利上げはすでに織り込まれているように思います。3回から下方修正されることにより、ハト派に感じますが、1~2回の利上げはむしろタカ派的にとらえられる可能性が高いと考えております。そうしますと、ドル高・NY金安が予想されますが、1回なのか2回なのかでも、市場が受け止め方が変わってきます。利上げを打ち止めする方が経済に対してプラスに転じますが、過去の場合、利上げを打ち止めしますと、ドル安・株安に向かう可能性もあります。正直、FOMCの発表後の反応に注意しておく必要があります。東京金は、FOMCまで上値が重くなると予想しておりますが、いずれにしましても来年、利上げを終了することが明確であるため、安値は買い拾われることでしょう。下値の目安は、4400円~4440円と予想します。

東京白金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	2984 円	2886 円	3069 円	2959 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	200 日	
	2882 円	2946 円	3061 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	200 週	
	2930 円	3000 円	3478 円	
RSI (14 日)	39.4%	乖離率 (13 日)	-0.6%	乖離率 7% が 目安
RSI (14 週)	41.1%	乖離率 (13 週)	-3.8%	

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
3114 円	3031 円	2949 円	2866 円	2783 円

CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
11/13	70,152	43,232	21,241	21,991
11/20	69,800	42,994	21,209	21,785
11/27	72,373	44,969	22,154	22,815
12/4	76,828	46,010	31,384	14,626
12/11	82,550	48,259	37,268	10,991
前週比	5,722	2,249	5,884	-3,635

コメント 本日の予想レンジ 2866 円~2882 円
今週の予想レンジ 2840 円~2940 円

東京白金は、コツコツ買い拾いとします。2866 円の攻防戦が予想され、徐々に下値を切り上げると考えております。ただし、再び買われた場面では売られることが予想されるため、反発場面では利食いも意識しておくのが良いでしょう。

今年いっぱい、悪材料を価格が完全に織り込まなければ上がれないため、当面は 2850 円~2950 円のレンジをイメージしておくのが良いでしょう。安値 3 回たたきますと、中期線が徐々に横向きとなりますので、何回か下値を買い拾いながらの逆張りで対処するのが良いでしょう。

東京トウモロコシ

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	24480 円	24050 円	24850 円	24100 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	200 日	
	24000 円	24220 円	23950 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	200 週	
	24180 円	24190 円	23340 円	
RSI (14 日)	44.0%	乖離率 (13 日)	0.1%	乖離率 5% が 目安
RSI (14 週)	48.8%	乖離率 (13 週)	-1.5%	

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
24400 円	24250 円	24100 円	23950 円	23810 円

CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
11/13	1,760,527	404,310	287,318	116,992
11/20	1,740,400	388,272	289,177	99,095
11/27	1,653,425	336,010	293,988	42,022
12/4	1,566,078	392,602	268,873	123,729
12/11	1,578,442	404,390	232,680	171,710
前週比	12,364	11,788	-36,193	47,981

コメント 本日の予想レンジ 24100 円~24000 円
今週の予想レンジ 24100 円~23800 円

反落。週末14日の取引終了後に発表された週間統計で、商品ファンド筋が予想を上回る規模の買い持ちポジションを積み上げていることが明らかになったことが背景。3月きりの清算値は0.75セント安の384.00セント。米商品先物取引委員会(CFTC)の12月11日時点の取組高報告によると、投機筋は前週の約1万4000枚の売り越しから、約3万枚の買い越しに転じた。一方で、米中貿易戦争の「一時休戦」を受けて、中国が米国産トウモロコシを購入するとの期待感により下げ幅は限られた。

東京トウモロコシは、昨日期先へ乗り換えの売りを建てましたが、ここからは狭いレンジで考えるのが良いでしょう。終値ベースで24100円以上ならば、いったん売り玉撤退とします。

東京ゴム

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	162.0 円	165.6 円	166.6 円	163.3 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	200 日	
	168.9 円	163.5 円	174.8 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	200 週	
	164.9 円	168.9 円	201.9 円	
RSI (14 日)	69.9%	乖離率 (13 日)	4.1%	乖離率 10%~ 15%が目安
RSI (14 週)	52.8%	乖離率 (13 週)	4.5%	

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
173.0 円	167.4 円	161.7 円	156.1 円	150.4 円

コメント 本日の予想レンジ 169 円~173 円
今週の予想レンジ 165 円~180 円

供用期限切れ現物の捨て場とされた 12 月限は一代の安値 133 円 50 銭 (11 月 21 日) から 163 円 60 銭 (12 月 13 日) まで、30 円 10 銭上昇、2019 年 1 月、2 月限中心に上げ足を早め 1 月限と 5 月限は逆ザヤになり始めた。

原因は東商取 (東京商品取引所) 指定倉庫在庫がまとまって中国に逆輸出されること、それに伴って東商取在庫急減見通しが強まったからだ。期近限月の上げ幅が大きくなっているのは取組高、出来高ともに少ないところに、売方の踏み加わって、いわゆる“踏み上げ”の様相を呈しているからだ。

相場をより以上に強めているのは、来年 2 月にはタイで総選挙が実施され、『より多くの農民票を集めるがために、政府はゴム市場に買い介入する可能性が高い』(市場関係者) の声もつぱらだ。

ゴムは買い方針継続です。16 日から開催しておりますゴム生産国 3 国協議の結果はまだ出ておらず、思惑で買い進まれております。輸出削減策が打ち出されますと、いったんは利食い売りが出ると予想しておりますが、そこは買い拾いと考えております。ここからは、21 日に発会します 6 月限を狙うのが良いでしょう。